

特集  
熊本

MESSAGE

## 堂々たる田舎「熊本」

熊本に住んでいると、阿蘇には本当に良く行きました。子どもの頃、ゴールデンウィークには草原に山菜採りに行きました。草原は人工的な環境ですので、きちんと山焼きをしないと、すぐに森になってしまいます。1,000年も続けてきた草原の管理のおかげで、貴重な植物が生え、生き物も多く暮らしています。今後もそれは続けて欲しいですね。

阿蘇といえばやはり「火山」です。さらに、エネルギーを感じる場所といえば阿蘇神社でしょうか。これらは熊本城と並んで熊本のシンボルですが、ちょっと次元が違います。阿蘇山は、噴火によって形作ってくれますが、破壊もする。崇めたり、恐れられたりする存在です。火山には地球のエネルギーがそのまま繋がっている。考えたらすごいことです。もう少しおとなしくしてくれているといいんですけど。阿蘇は恩恵ももたらしますが熊本地域だと水ですね。水道水が本当に美味しいんです。天然のミネラルウォーターですから。

熊本には、活火山あり、海あり、水も綺麗。そういう素材には事欠きません。熊本を一言でいえば「堂々たる田舎」でしょうか。私にはとても大事で魅力的な場所です。

先日、阿蘇にロケに行った際、草原に熊本地震でできた崩壊地や亀裂があり、牛の放牧ができなくなっている場所がありました。深く狭い亀裂に牛が入り込むと危険なので、牧場主の方たちが重機なども使って直されていました。人が山焼きし、千年も二千年も維持してきた草原で放牧されている阿蘇固有の赤牛は、草原の草しか食べずとても健康的です。脂が多すぎず、赤身の肉本来のおいしさが味わえます。ようやくそれが県外でも評価されて、今いろいろな所のシェフが赤牛を求めるようになり、値段も上がっているようです。

2016年4月に発生した熊本地震のあと、熊本の実家に帰った際に「地震ハザードマップ」を見ました。それは東日本大震災のあとに配られ、「地震があったらこうなりますよ」と書かれているそのままのことが起こっていました。や

はり、もっと自分の住んでる地域に関心を持たないと駄目ですね。自身が遭遇しないと防災意識は変わりません。ふるさとは「被災地」と呼ばれることになるとは思っていませんでした。

地震のあと、熊本に帰る機会を以前よりも増やしました。それは年齢的なものがあるのかもしれませんが、やはり「何か恩返しができないものか」という気持ちからです。

復興の速度は、地域や人により差ができています。実家の母は2日間くらい近所の中学校での避難生活のあと、水や電気が使えようになった家に戻りました。しかし、未だに仮設住宅で暮らしている方もいらっしゃいます。この差が広がっていかねばいいと思います。子どもたちも、余震がなかなか収まらずに恐かったらうし、いろいろと我慢していたと思います。それでも「頑張るぞ」というエネルギーに変えていけるように、周りの人たちが支えていかなければならないと思います。

仕事柄、私が一番できることはとにかく熊本に目を向け

てもらえるきっかけをつくっていくことです。今まで以上に「熊本」をアピールしつつ、とにかくいろいろな人に来てもらい、見てもらい、感想を述べてもらい、力を貸してもらおう。熊本城の修復作業も、ぜひ沢山の方に見て欲しいポイントです。熊本城の周りには見学コースもできていて「今、こういう工事をしています」というところを見てもらうのは、とても良いことだと思っています。特に、子どもたちに復興していく様子をきちんと見せるのは、大人の責任なのかもしれません。

熊本の人達は、「熊本城がとにかく残ってくれた」「何とか持ちこたえてくれた」というだけで、お城を中心に気持ちを合わせていくことができるんじゃないかと思っています。震災のあと熊本に帰った時、熊本城の姿を見ると、すごく力が湧くような気がしました。まちの中心というだけではなく、人々の気持ちの中心になる。そのような存在にありがたさを感じます。



宮崎 美子  
MIYAZAKI Yoshiko

### プロフィール

1958年熊本市出身。1982年熊本大学法文学部卒業。在学中の1980年にミノルター一眼レフカメラのテレビCMに出演し、木陰でTシャツとGパンをはにかみながら脱いでビキニ姿になるという内容で大反響を呼ぶ。同年のTBSテレビ小説「元気です!」の主演で本格的女優デビュー。その後テレビ、映画、舞台とその活躍の幅を広げていった。お母さん役などの貴重な脇役として活躍する一方で「クイズの女王」と呼ばれるほどクイズ番組で好成績を挙げている。小型船舶、潜水士、中型二輪、漢字検定1級の資格を持ち、巖谷小波文芸賞を受賞。「生きものへの礼儀」(光文社2000年)、「宮崎美子のスツと漢字が書ける本」(ワニブックス2010年)などの著作がある。また、熊本市わくわく親善大使や高知県四万十大使。熊本が舞台にもなる2019年度NHK大河ドラマ「いだてん」に熊本出身のマラソン選手金栗四三のお母さん役(熊本弁)で出演予定。

阿蘇放牧(阿蘇市)(写真:熊本県)